

# 市民の知る権利を守れ

## 八千代市情報公開審査会

### 組織ぐるみの違反行為と指摘

9月29日情報公開審査会は、「市長主導による改ざん」「組織ぐるみの違反行為」との意見書を提出しました。

昨年10月に請求し開示された「会議録」は、内容が大幅に削除されたものでした。知る権利を侵害しているとして、今年1月に情報公開審査会に異議申し立てがされました。

開示文書は、事業仕分けに関する趣旨や事業選別、そして予算編成に係る発言がほぼ全面カットされ、新年度予算編成にあたっての市長の指示事項(案)は23カ所にわたり黒塗りされていました。

日本共産党は今年3月議会で「市民の知る権利を守る立場から」質問を行いました。

市長は、9頁会議録を「作業中のデータ」とし、4頁会議録を正当化する答弁に終始し、黒塗り部分については「公にすることにより、意思決定の中立性が不当に損なわれるおそれ、不当に市民の間に混乱を生じるおそれ」を盾にして不開示を正当化しました。

しかし、情報公開審査会は、4頁会議録は、条例に違反して書き直したため無効、黒塗り部分について2カ所以外は「公にすることによる具体的かつ明らかな支障がある」とは認められず開示すべき」と答申しました。

さらに市長答弁について、「会議録」問題は「虚偽答弁」「不開示」問題は「危惧答弁」

であるとしています。

10月7日の臨時議会では、「秋葉市長の公文書改ざんに関する調査特別委員会」(百条委員会)の設置を全会一致で可決し、行政の適正執行と再発防止を目的とする調査を行うこととなりました。

日本共産党は、市民に開かれた市議会とするため「百条委員会」は市民やマスコミの傍聴を認め、公開制で行うことを提案しました。

## 戦争法案廃止を求め

### 請願が不採択に

今議会に、戦争法案に関する「慎重審議を求める」と「廃止を求める」請願が3団体から提出されました。

総務常任委員会の審議で、ある議員は「俺は法案についてよくわからないから」と言って反対しました。また「戦争には反対だけど、抑止力にはなるから」という理由で反対した議員もいました。

これらの請願は、9月29日の本会議で10対17で、残念ながら不採択となりました。

しかし、安保法制(戦争法)には国民の6割が反対、国会で十分説明されたかには8割の人が尽くされていないと答えています。

9月15日の参議院特別委員会では、地方・中央公聴会の

## 百条委員会とは

地方公共団体の不祥事件が起こった原因を執行機関とは違う立場から、行政の適正執行・再発防止を調査する。執行機関に対する監視権限を実効的に行使する調査権限を持ち、地方自治法により出頭、証言、記録の提出を請求できる。正当な理由なく応じない場合は告発する権限が付与され実効性が担保されている。

委員会」は市民やマスコミの傍聴を認め、公開制で行うことを提案しました。

## パラシュート事故で 防衛省に聞き取り

5月30日、自衛隊習志野演習場でのパラシュート降下訓練中に高津地域の民家に降着する事故が発生しました。

このような事故が毎年のように発生しているため防衛省に対し、全国の降下訓練場の面積、降下訓練の回数、習志野演習場の降下訓練の人数の推移など資料の提出を求めました。

8月28日、日本共産党市議団は防衛省で、場外降着事故



▶習志野演習場での初降下訓練

**植田 進**  
 ☎4871-9754  
 ☎4851-5089 (事務所)

**堀口 明子**  
 ☎7521-0453  
 ☎4941-6460 (事務所)

**いはら 忠**  
 ☎4881-7207  
 ☎4941-8009 (事務所)



**無料法律相談会**  
 専門家が相談に応じます

【日時】 奇数月 第3木曜日 午後2時~4時  
 【場所】 市役所4階 日本共産党控室

ブラック企業雇用問題・サラ金・医療・介護・年金・税金・教育・子育て・生活保護・地域の要求。何でもどうぞ! ※予約が必要です

## 行事に配慮し 訓練時間を変更

### 演習場周辺の騒音対策を求めたところ、防衛省は、周辺地域に配慮するのは当然であり、「行事などが行われる際、1週間程度前に申し入れがあれば訓練をやめる」というものでした。

演習場周辺の騒音対策を求めたところ、防衛省は、周辺地域に配慮するのは当然であり、「行事などが行われる際、1週間程度前に申し入れがあれば訓練をやめる」というものでした。

さらに「タッチ&ゴー」という訓練が、5分おきに2時間通して行われているため、「テレビの音が聞こえない」との苦情を伝えたところ、この訓練は下総基地で行われていることが分かりました。

下総基地の訓練日は、柏市と野田市にしか知らされていない。八千代市議団は「下総基地の訓練日を八千代市にも知らせて広報で周知できるように」要望しました。

## 日本共産党は

### 平成26年度決算を不認定に

待機児童が308名にもなっています。

平成26年度当初予算案では子ども医療費は小学校6年生まで無料化だったものを、市議会が中学校卒業まで拡充しました。秋葉市長はこのために市の財政が困難になっていると議会で責任を押しつけながらその一方、広報やちよ平成27年元日号で子ども医

療費の対象を拡大と成果を誇っています。このような都合主義は、議会に対しても市民に対しても絶対に許されるものでなく、猛省を求めめるものです。人口増加策が不可欠としながら、八千代市の保育園の待機児童が308名にもなっています。

待機児童解消の認可保育園の新・増設など具体策をもたないまま、民間まかせで乗り切ろうとしています。日本共産党は、このような決算を不認定としました。

日本共産党

# 八千代市議団ニュース

2015年(秋季号)

発行:日本共産党八千代市議団  
☎047(483)1151  
市役所議員控室 内線3416  
kyousan@city.yachiyo.chiba.jp

市政へのご意見、ご要望をお寄せください



# 東葉高速鉄道運賃の

## 引き下げを要求

東葉高速鉄道が開業して以来19年、八千代市は総額124億円もの出資をして東葉高速鉄道を支えてきました。

この財政支援は、当初の予定では第一次支援の10年間とされてきました。それは、営業開始後4～5年で1日あたりの乗降客が14万5千人に到達するとして計画され、3300億円もの長期債務の返済は可能であるとされていたからです。

### 3年連続で50億円 超の営業利益

9月議会で、東葉高速鉄道の昨年度決算は、営業利益が3年連続で50億円を超え、この1年間で64億円もの借金を返済しながら、留保資金として258億円を確保していることが明らかになりました。

昨年の利用者が、過去最高の1日あたり14万人を突破したからというわけではなく、以前から東葉高速鉄道は赤字でした。赤字なのは建設時の

借金だけなのです。

### 通学定期の値下げで 利用客の増に

日本共産党は、この赤字の状況から以前から運賃の値下げを求め、乗降客の増加につながるとして、通勤・通学定期の値引きを要望してきました。

「昨年4月の通学定期券値下のあと利用客が増加しているか」の質問に対し市は、乗降客の増につながったことは認められたものの、「あと8%通学定期券利用者が増えないと、約1億9千万円収入減をカバーできない」と答えました。この第二次支援は来年、2016年度で終わります。



▲黒沢池付近を走行する東葉線

1億9千万円と聞くと大変大きな金額と考えがちですが、留保資金のわずか0.74%に過ぎません。

乗降客増の実績は出たので、今後とも①運賃の値

下げ、②通勤定期券の値下げを実現するよう強く求めています。同時に、東葉高速鉄

道通学定期券が値下げされていることを周知するよう求めました。

### 学校図書費

#### 補正予算で 一歩前進

平成27年度予算で小中学校の図書費が2万円という学校が23校（小学校15校、中学校8校）もありました。

日本共産党は、これでは子どもたちが読書の楽しみや調べ学習が十分にできないことを訴え、6月議会で予算の増額を要求しました。

その結果9月補正予算で23校に一律プラス8万円の予算が計上されました。しかし、文科省の基準にはほど遠い予算です。（文科省は一学級当たり小学校3万円。中学校5万円を目安にしています。阿蘇小でも3×6の18万円。陸中なら5×5の25万円）

日本共産党は引き続き図書室の充実のために図書館司書の増員も含めた教育費の増額に向けて取り組んで行きます。

このような不正常な状態を改善するために議会と話し合い、再度委員を任命することを要望します。

### 欠員の教育委員を 至急補充せよ

八千代市の教育委員会委員は、定数5名のところ、2名の欠員となっています。

本年3月の議会で市長から欠員補充のため2名の委員を任命する議案が提出されました。日本共産党は賛成しましたが、自民・公明・市民クラブの反対で否決されました。欠員のまま様々な教育委員会会議が行われているのは異常な事態です。

### 教科書採択の 会議は公開の場で

今年4年に一度の教科書採択の年です。八千代市では、教科書採択は非公開の会議で決められています。千葉市、船橋市、市原市は公開制で採択の会議を行っています。教育権は国民にあるのです。八千代市の教科書採択も公開の場で行うよう市に要望しました。

教育長からは「現在、八千代市と習志野市は2市で協議する広域採択方式になっている。しかし、採択は公開の場です」という認識はあるので、今後は習志野市と協議していく」と答弁がありました。

## 子育て支援は市が責任もって

子どもを認可外保育園に預ける。または、かぎっ子にせざる得ない保護者が、一日も早く保育園や学童保育所に預けられる日を待っています。八千代市では、保育園で308人、学童保育で124人の待機児童がいます。

9月議会で施設の増設を行うよう要望しましたが、市は「小規模保育（19人未満）を行う民間事業所を公募している」として、自ら設置することは考えていません。

やむを得ず認可外保育園に預けている家庭への助成金（佐倉、習志野、船橋では実施）を本市でも実施よう求めましたが「認可外保育園の質をあげて、認可保育園にすることで対応」というすり替え答弁でした。

市は、学童保育所の来年度開設に向けて話を進めています。しかし、これでは待機児童解消の抜本的解決にはなりません。日本共産党は、市が責任持って保育園や学童保育所を増設し運営することを要求して行きます。

### 保育園・学童保育所の待機児童数（10月1日現在）

		保育園		学童	
		市基準	国基準	市基準	国基準
八千代市	市基準	308人		124人	
	国基準	*			
習志野市	市基準	211人		4人	
	国(9月)	95人			
佐倉市	市基準	169人		0人	
	国基準	58人			

\*八千代市では国基準の待機児童数は4月と10月しか調べていません。11月中旬に10月の国基準の待機児童数がわかるようです。

## 2015年9月議会

### 主な議案・請願・日本共産党提出の発議案に対する議決結果

日本共産党市議員団調べ

○:賛成 ×:反対 欠席、議長は採決に加わらず 敬称略

議案・請願	議決結果	賛成人数 反対人数	日本共産党				市民クラブ					公明党			自由民主党			新・みんなの広場		新未来		維新の党								
			堀口	伊原	植田	横山	嵐	伊東	江野澤	大塚	小澤	林隆文	木下	正田	末永	立川	緑川	林利彦	成田	西村	塚本	橋本	高山	原	山口	河野	松崎	菅野	奥山	三田
マイナンバー制度実施のための条例の制定	可決	賛成 23 反対 4	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
26年度決算認定	否決	賛成 4 反対 23	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	
請願 介護報酬の再改定を求める件	不採択	賛成 8 反対 19	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	○	
請願 安保関連法案の慎重審議・廃案を求める件	不採択	賛成 10 反対 17	○	○	○	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	
請願 地方創生の観点から街路樹街路草花の管理に関する件	不採択	賛成 8 反対 19	○	○	○	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	○	○	
環太平洋連携協定(TPP)の交渉撤退を求める意見書	不採択	賛成 4 反対 23	○	○	○	×	長	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	
農業委員会の公選性維持と機能充実を求める意見書	不採択	賛成 4 反対 23	○	○	○	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	
労働者派遣法改正案の廃案を求める意見書	不採択	賛成 8 反対 19	○	○	○	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○
川内原発の稼働を停止し「原発ゼロの日本」を求める意見書	不採択	賛成 7 反対 20	○	○	○	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○